

## 第16回 秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画推進委員会 議事録

日 時：令和元年10月11日（金） 午後1時30分～3時

場 所：秋田市役所本庁舎5階 第2委員会室

委員の定数：13人

出席委員：10人

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) 令和元年度の主な取組について

資料1をもとに、事務局から説明を行った。

委員 長 議事の(1)「令和元年度の主な取組について」ご意見やご質問等はないか。

委 員 株式会社ALL-Aは高齢者の社会参加の促進に取り組んでいると  
委員 員 ことで実ありがたいことである。高齢男性の社会参加率が極めて  
低いことは非常に困った状態であり、長寿福祉課で取り組んでいる高  
齢者生活支援体制整備事業の第一層協議体でも話題になっているので、  
互いに情報交換することで、よりよいものが生まれてくるのではない  
かと思う。

委 員 長 情報が入り次第ご提供いただければと思う。

委 員 基本的に利益を追求するのが株式会社の使命であるが、ALL-A  
委員 員 の設立経緯をわかる範囲で教えていただきたい。

事 務 局 ALL-Aの設立には、東京大学高齢社会総合研究機構（東大IOG）の後藤先生の強い力添えがあった。民間と、特に高齢者を中心とする市民が共にいろいろな価値を生み出すのがリビングラボであり、そこで生まれた製品を秋田から発信するという取組をしている会社はまだないため、先進的な会社であると言える。ただ、まだ協力会社がなかなか集まらない状況のようで、今のところは県外の大学から高齢者をターゲットとした様々な調査依頼が来ている段階である。製品が生まれるところまではいっていないが、この一年間は周知期間として、出資している株式会社秋田魁新報社などを通じてPRに努めている状況となっている。

委 員 以前、筑波大学と実施したリビングラボはもう終わったのか。

事務局 現在、報告書などが出来上がるのを待っている段階であるが、研究をした際に何か書面を交わしたということでもないため、今年度は特に動きはないという状況である。

## (2) 秋田市エイジフレンドリー指標の見直しについて

資料2をもとに事務局から説明を行った。

委員長 議事の(2)「秋田市エイジフレンドリー指標の見直しについて」ご意見やご質問等はないか。

委員 4-5に高齢者の社会参加として秋田市社会福祉協議会の地域サロンについて記載がある。サロンについては、各地域で開催の頻度は違うが、集まってお茶飲んだり、いろいろな人の話を聞いたりするという話をよく聞く。私は認定眼鏡士の資格があり、術後の眼鏡や最新の補聴器についても知識があるので、ボランティアでサロンに見本を持って伺い、賢い消費者になるための知識をお話しすることができる。商売をする目的はなく、時間が取れば無料で伺うので、市社協でサロンの催しの一つとして声をかけていただければと思う。

委員 サロンは秋田市にどのくらいあるのか。また、開催頻度や責任体制はどうなっているのか。

委員 市社協で各地区からの情報を基に把握しているサロン数は現在196である。サロンの開催頻度は、月に1回から年に1回まで様々であり、開催場所も町内会館もあれば個人宅もある。また、責任者をおいて開催するようなところはあまりない。

委員 すると好きな人が行って、ただ話をするだけなのか。

委員 いつ開催するという周知をして、来れる人は来てくださいということである。

委員 それは高齢者だけの集まりか。

委員 ほとんど高齢者である。

委員 高齢者だけが集まってもつまらないと思う。今年度のエイジフレンドリーシティカレッジの「グランドレベルのつくり方」にあるように、「0歳から高齢者まで、主婦からサラリーマンまで」ということで、様々な人を集めた方が、0歳の赤ちゃんと80歳の老人がふれあうこ

- ともできるのでよいのではないか。
- 委員 以前のエイジフレンドリーシティカレッジで、文京区社会福祉協議会が「こまじいのうち」について紹介していた。そこは高齢者だけではなく、子育て中の母親なども利用できるようになっており、利用者が増えると運営を利用者自らが行うようになるなど、助け合いながら誰でも利用できる場所となっている。そのような場所を目指し、東地区で「ふらっとさん」というサロンが2年前にできて、デイサービス施設の2階を開放して行っているが、やはりそこに来る方々はどちらかという高齢者の方が多い。
- 委員 エイジフレンドリーシティというのは、「高齢者にやさしいまち」としているが、事業そのものは若い人から高齢者までみんなが関わって高齢者にやさしい秋田市にしようという趣旨なので、おっしゃるとおりだと思う。ただそれが現実問題としてなかなか難しい。
- 委員 秋田の人で積極的に出て行く人は少ないかもしれない。
- 事務局 屋外で青空サロンとして実施しているところでは、通りがかりの若い人が参加する場合もあるので、やり方によって若い人も入っていくことができるのではないかと思う。
- 委員 参考までにであるが、勝平地区の場合は各町内で市社協の補助金を活用し、毎年趣向を変えながらサロンを開催しており、やはり高齢者が多いものの参加者が結構集まっている。
- 委員 参加者が固定化してきているというのが課題と感じている。
- 委員 私の町内会では地区体育協会の運動会は子供会と連携して行っている。種目もボール転がしや綱引きなど子どもから大人まで参加できるものなので、まずは呼びかけて子どもとお父さん、お母さんたちにも参加してもらい、終了後は懇親会を開き、親睦を深めることに成功している。このようなことをしないと高齢者と若い人が交流するところがない。災害時にテントを立てるなどの作業をする際にはどうしても子供会のお父さんたちなど手が必要であり、日頃からコミュニケーションをとっておかなければいけないと思う。また、老人クラブは花の苗を植えたり、当番を決めて水やりをするなどして地域の花壇を管理しており、このようなことを通して絆を深くし、エイジフレンドリーを実践している。
- 委員 先ほど委員の中で講師を引き受けていただけるという話もあったが、サロンの内容を充実するため、市社協ではサロンに協力いただける講

師陣や研修内容などを集めた一覧を作成しようとしているところである。研修については、相続をテーマにしたものをやると、意外と若い人が自分の親の財産などを心配して参加するという場合もあるので、このような企画で若い人も取り込んでいくのも方法の一つと思う。

委員 運動会の話があったが、新屋地区の運動会は大変盛んであり、最後は町内会対抗で足が速い選手による力の入ったレースが始まる。私としては、それが果たしていいのか疑問である。というのは、最近の傾向として運動会もその後の反省会も、段々若い人が多くなり、高齢者が少なくなっている。一ノ関委員の話を聞いて、町内会でも少し考えなければならないのかなと思ったところである。それから、基本方針2の交通機関の利便性の向上について、福祉バスの導入を指標に加える考えはないか。所属団体で市社協から車を借りながら催し物を企画しても、車椅子の人や、重度の障がい者がなかなか参加しない。やはり低床バスがあっても乗れないとか、市社協の車の台数が足りていないなど、交通の便が影響しているのではないかと考え、以前から市に福祉バスの導入をお願いしているが、予算や管理の問題でまだ受け入れられていない。高齢者でも車椅子の利用者も当然いると思うので、その人たちの社会参加のため、市の管理により、誰にでもどんな団体にでも貸し出しする福祉バスを導入してはどうかと提案しているところである。

事務局 福祉バスについて調査した上で検討したい。

委員 4-6の高齢者のスポーツ活動への参加については健康運動教室が指標となっているが、太極拳の教室なども入るのか。また、現在グラウンド・ゴルフは非常に人気が高く男性の参加率もよい。グラウンド・ゴルフ協会に問い合わせれば、おおよその参加者数はつかめるのではないかと思う。

事務局 現在指標としているのは、スポーツ振興課で実施している健康運動教室のみである。昨今は、保健所で開催している「いいあんべえ体操」や、健康寿命延伸ということで県が実施している体操など、様々な体操が増えてきているので、今後精査し、代表的なものを指標とするよう検討していきたい。

委員長 行動指標の追加や変更について、ほかに意見があればお願いします。

委員 5-2にあらゆる世代がお互いを認め合う地域と社会をつくるとあるが、地域の商店街ではコインバス資格証明書や、運転免許証を返納した証明書を提示した方に割引サービスを行っている。しかし、それを知らない方が多いので、もう少しPRしてもらえればよいと思う。

事務局 エイジフレンドリーパートナーが行っているコインバス資格証明書の提示によるサービスについては、周知を図るため、今年度から事業者の同意を得た上でチラシを作成し、資格証明書と共に配布している。徐々に浸透していくと思うが、今後も周知に努めたい。

### (3) 平成30年度エイジフレンドリーパートナーの取組状況について

資料3をもとに事務局から説明を行った。

委員 4の高齢者の積極的雇用の(2)検証および今後の取組に、「従業員の健康づくりにも配慮した雇用の継続を促していく」とあるが、市としてどのようなことを考えているのか。

事務局 エイジフレンドリーパートナーの3年に一度の更新や、新規登録について事業者等から相談があった際に案内するものである。

委員 雇用の継続とあるが、これは継続雇用という意味ではなく、新規も再雇用も含めて促していくという捉え方でよいか。

事務局 そのとおりである。

委員 最近、親戚や昔の友人、職場の人たちと会うと必ず、誰がどこの具合が悪くなったとか、何ができなくなったという話が出てくる。それが高齢化ということなのだろうが、高齢者がどのような立場で何をやるにしても最低条件は健康だと思う。だからやはりエイジフレンドリーに取り組むに当たっては、高齢者の健康に気を配りながらやっていかなければならないと思う。最近は、血圧以外の項目も簡単に測定できるような機器もあると聞いているので、そのようなものも取り入れると効果があると思う。

事務局 従業員に高齢者が増えてくることもあり、エイジフレンドリーパートナーの取組の一つとして、血圧計を設置しているところはある。

委員長 エイジフレンドリーパートナーの取組には、なかなか思うようにいかない部分もあると思うが、事業所も少しずつ増えていっており、進んでいるのではないかと思う。

### (4) エイジフレンドリーシティ推進戦略～中央地区編～について

資料4をもとに事務局から説明を行った。

|       |   |
|-------|---|
| 委 員   | 東大 I O G の後藤先生はこの戦略をどのような形で活用するのか。  |
| 事 務 局 | 今後、市が第 3 次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画を策定することを踏まえ、まずは地域の課題を整理することから行っていきたいという後藤先生の意向もあり、共同研究の一環として戦略づくりのワークショップを始めたものである。後藤先生がこれを基に何か研究するという事ではない。   |
| 委 員   | 様々なところで参考にさせていただくという話があったが、一つ二つ、実現しそうなものは何かあるか。   |
| 事 務 局 | 住民の皆さんが特に切に願っているのはバス停の環境であると感じたが、福祉保健部で実現するとなると非常に難しいため、公共交通事業者も参加している秋田市バリアフリー協議会に、地域ではこういった要望があるということを情報提供することで、何か動きがあることを期待している。   |
| 委 員   | 一つでも二つでも何か実現できるとよい。   |
| 委 員   | 推進戦略は大変よくできており、担当も大変苦勞しているのではないかと思うが、このようなことをやっていることについて、一般市民には情報が伝わっていないのが現状ではないか。もっと周知を図るとよいと思う。また、いろいろな課題があり案が出されているが、十分に検討するだけでなく、あまり時間をかけず、時間を区切って一つ一つ結果を出すことも必要と思う。その結果が必ずしも思った通りにならない場合も多いと思うが、これだけ世の中が早く動いているので、実行して結果を出すという時代でないかと考える。 |
| 委 員 長 | 実現に向けて期限を設けたりしているのか。  |
| 事 務 局 | 後藤先生からも、できるものからすぐに着手することを勧められているので、できれば第 2 次行動計画期間中に一つでも多く実現したいと考えている。  |
| 委 員   | アイデアをすべて実現するというわけではないのか。  |
| 事 務 局 | すべて実現するのは無理なので、特に中央地域において実現していきたいものを 4 つの推進戦略としている。8 つの基本目標すべてのアイデアを網羅できればよいのだろうが、後藤先生とも相談し、時間をかけずに実現していくためには絞り込むことが必要と判断したものである。   |

- |    |   |
|----|---|
| 委員 | 秋田は電柱に防犯灯がなく暗い小路があり、小学生が歩いているのを見ると心配になる。県も市も予算がないのであれば、電柱に光るステッカーを貼れば防犯になるのではないか。   |
| 委員 | 防犯灯については、今、ちょうど市から町内会に増設や新設について要望調査が来ている。暗いところがあれば、市に申請して付けてもらった方がよい。私の地域では、ほとんど暗いところはないと思っている。                           |
| 委員 | 公園もライトが一つ点いているだけなので暗い。フェンスに反射板をつけても防犯の効果があると思う。信号機や歩道についての要望も、市は予算がないからつけられないと言っているようなので、そういう簡単にできるようなことから始めた方がいいような気がする。 |
| 委員 | 私の地域では、児童公園の中にも防犯灯は2機くらい設置されている。それを囲んでいる道路にもちゃんと防犯灯はあり、できるだけそういう犯罪がないよう気をつけている。町内会から要望すれば、すぐにではなくても設置してもらえらると思う。          |

#### (5) その他

- |     |   |
|-----|---|
| 委員長 | 「その他」について、委員の皆様から何かないか。   |
| 委員  | 11月8日に秋田市文化会館で秋田市社会福祉大会を開催する。交通安全の推進として「わたりジョーズ君」の体験や、「おせっかいのススメ」をテーマに「おせっかい協会」会長の講演もあるので、ぜひ参加していただきたい。 |
| 委員長 | 事務局からその他として何かないか。   |
| 事務局 | 事務局から以下の事務連絡を行った。<br>・ 次回の推進委員会の開催時期について  |

#### 4 閉会